

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年7月25日(月)

第37号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

熊本地震から100日が経過しましたが 復旧復興はこれからが本番



参加者一同 行動前の和やかな集合写真



被害が少なくても、場所によっては瓦の被害が



被害は少なくても、どこそこに爪痕が

7月24日熊建労9人、福建労9人の18人が、西部支部地域の組合員訪問に参加。熊建労と福建労の力自慢5人は、前の週に龍田の組合員宅から片づけ仮置きしていた割れ瓦を廃棄場の開いている26日に震災ゴミへ持ち込むため、河内の仮置き場からトラックへ載せかえる作業に午前中は汗を流しました。6組に分かれた訪問行動では96件訪問し、77人の組合員・家族と対話することが出来ました。訪ねた地域は震源地からも離れていますが、液状化による地盤沈下、地震による風呂場の亀裂、クロス破れなど一部損壊にあたる方が多く見受けられました。

「自分たちは住むところがあるので辛抱できる。避難所や仮設住宅の支援が先」と、震災から休みなく仕事を続けている組合員を心配する、家族の声も聞かれました。



一軒づつ訪問し、被害確認と制度についての対話を実施

1、被害状況（該当支部）

7/25 9:00 現在

	城北	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ		0	0	7	6	10		23
全壊		2	1	79	14	20		116
半壊	1	8	3	179	20	41	2	254
瓦・一部	14	22	6	328	40	157	9	576
地盤沈下 液状化			1 (川沿い)					1
土石流避難			4					4

(1) 被災地の状況

○支部機関紙を見て、『一部損壊でも共済申請できる』と知り申請に来る方がいる一方、訪問行動の中で共済申請できることを初めて知ったという仲間がいる。

(2) 被災した仲間の要望（また地域住民からの引き続きの要望）

○申請と一緒に、水やおむつの要望がある。

2、支援活動

(1) 7月全国の県連・組合からのボランティア参加予定

○福岡県建設労働組合の仲間が9人ボランティアに参加していただきました。

○広島県建設労働組合より義援金をいただきました。

(2) 支部独自の組合員訪問行動

○7月24日（日）に、八代支部の4人が家具転倒防止の住宅デーを取組みました。ボランティアを偽った詐欺が多数発生しており、自治体からの注意が高齢者宅に回っている中、元組合員の協力を得ながら2軒のお宅で作業をしました。それぞれのお宅から、熊本地震の熊建労に対する義援金をいただきました。

熊建労OBの力も借りて 家具転倒防止のボランティアを実施



比較的地震被害の少なかった八代地域では、ボランティア先の確保に社協の方も苦勞しているのが実情です。（詐欺に注意の回覧板が回っており、希望者がなかなか見つからない）八代支部元役員の吉永さんの協力を得て、2軒のボランティア先が見つかりました。2軒とも年配の方が暮らしており、年代物の大きな家具をL型ステーにより柱に固定しました。作業後に熊建労震災募金に協力をいただきました。